

ちわい

2011

彼岸号

VOL.131

浄土宗西山深草派宗務所

総本山 誓願寺



◆ 「総本山誓願寺 山門」 ◆

◆ 目次 ◆

- 慈光〈第十七回〉
- 賢問子行状記①
- お釈迦さまのご生涯 4
- 誓願寺へ行こう
- インド **ドタバタ** 夫婦道中記 ②⑤
- 総本山誓願寺だより
- 特別展覧会
『法然 生涯と美術』

慈光 17

「慈光」。万物を育成し世に恵みを与える光。大慈悲の光明。阿弥陀さまの分け隔でのない暖かい優しい光。私たちはこの光を頂き、生かさせていただいております。慈光に照らされた私たちの生活を今一度考えてはどうでしょうか？鈴木皓道先生のお寺岡崎市本宿町「慈光院」より拝しました。

5年前にも掲載されましたが、特に「念佛」を正しく戴く為に再度掲載致しました。

【念佛を称える心】

私共の生活には、ガス・電気・石油の燃料は欠くことの出来ぬものばかりですが、六十歳以上の方に馴染み深いのは木炭です。私の寺では大鉢を出し、木炭を使ってお参り下さった人々の暖をとりますが、真つ赤に熾^おきた炭火を見て懐かしむ人々の姿を眼にします。木炭は、大きく分けると四種類ほどあって、

1、松炭Ⅱ松を原料として火力は弱くて俗に「ドンゴロ」と言つ。
1、雑木炭Ⅱナラ、クヌギ、トチを原料として熾^おきる時に火

の粉が飛ぶ。

1、櫻炭Ⅱ茶席用^{つばめがし}で、火力が強く、熾^おきると消えない。

1、備長炭Ⅱ元禄の頃、紀州の田邊にて備後屋長兵衛が姥女櫓を原料として始作。

1、竹炭Ⅱ近年になって、竹を原料として使うことが再認識されている。

この木炭を大鉢で熾^おこすと真つ赤になって炭の中心に至るまで熾^おきて炭火になります。

人間の体も同じ事で、ご先徳は「例え吾々の体を小さく摧^{くだ}いても報佛の功德の至らぬ処なし」と仰せられ、阿弥陀様の本願の功德を心身共にいっぱい頂いて

私共は今の一刻を生かさせて頂いているのです。念佛を称えるところからともなく、それを教えてくださるのです。

阿弥陀様のお誓いに「乃至十念^{ねん}」と仰せられました。「十念」は十回の数の事ではなく「十は充」と申して、心いっぱい念佛のお心を頂いた念佛の事です。

沢山念佛を称える。

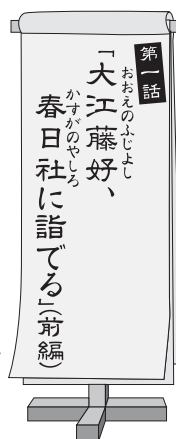
念佛は称えない。

この数にとらわれることはありません。

縁に触れ、時に随って念佛を心静かに称えると「あー。こんな私でも、こんな自分でも佛さまのおかげで生かさせて頂いているのだ。」と、納得できます。

賢問子行状記

小島英裕



『賢問子行状記』は、宝暦十二

年（一七六二）沙門春澄によって

出版された『誓願寺縁起』の続編

です。新しい物語が収められ、代

表的な物語を選び出し、場面の

描写がより丁寧に深く語られて

います。情感溢れる会話のやり

とりは、あたかも歌舞伎の台本

を読んでいるが如く人情に訴え

てくるものがあります。『賢問子

行状記』が読み継がれること願

って連載を始めたいと思います。

三十八代斉明天皇の時代、奈

良の里に代々仏師を営む大江藤

好が住んでいました。家業はと

ても繁栄しましたが唯一の悩み

は、四十歳を過ぎてても子どもが

授からないことでした。藤好は

ある時妻に「私たちには家業を

継ぐ子どもがいない。聞いたと

ころ春日明神さまは必ず願ひ事

を叶えてくださるそうだ。さっ

そく気持ちを一つにして子ども

が授かるように祈ってみよう」

と話し、三日間社に詣で祈りま

した。その祈りが神さまに届い

たのでしょうか。二日目の明け方、

白髪の老人の姿となった神さま

が妻の枕下に立ち「あなた方の

願ひにより子どもを授けよう。

そして、この鑿もそなたに授け

よう」と告げました。妻が目覚

ますと枕下に鑿が置いてありま

した。二人は喜んで家に帰り、朝

夕の礼拝を怠りませんでした。

しばらくして妻は懐妊し十月を

経て玉のような男の子を産みま

した。親族は喜び、その子を賢問

子と名付けました。

賢問子は、五歳の頃より西に

向い合掌したので両親は不思議

に思いました。十一歳になるこ

ろには親孝行になりました。と

ころが世の無常の習い、藤好が

大病にかかり、親族の看病の甲

斐無く危篤状態になりました。

藤好は賢問子を枕下呼び「私

は長年仏師を営んできたが霊仏

を信じる心がなく気ままな人生

を送り、今命が終わろうとして

いる。私の死後、そなたは出家し

て私の菩提を弔ってくれ。これ

以上の孝行は他にはない」と言

い残し藤好は亡くなりました。

（つづく）



春日鹿曼荼羅(誓願寺所蔵)



従者一人を連れ城を出る悉達太子

お釈迦さまのご生涯 4

文・釈尊法話会 絵・豆田 織奈

四門出遊 出家(後編)



ある時のことです。北の城門を出ると、「あれは何だ?」とお尋ねになり、「沙門(出家者)でございます。世の中の名利、財産を一切捨てて、修行されている方でございます」とお付きの者は答えました。太子は初めて出家者を見たのです。「ああ、この沙門という方はなんて素晴らしい顔をされているんだ。なんて幸せそうなお姿をされているんだ」と呟き、出家

にあこがれました。

そして29才の時に、太子は出家を決意されましたが、父である浄飯王は、每晚美しい女たちに舞を躍らせ、音楽を奏でさせ、宴会を催し、出家を止まらせようとした。しかし、眠りこけた女たちの乱れた姿を見て嫌悪しました。「私は世俗の快楽から離れよう…。生れたばかりの子供を置いて、愛馬カンタカをのり、従者のチャンダ唯一人を連れ、住み慣れた城を飛び出されました。

城を出た太子は尼連禪河のほとりで、髪をそり出家者となりました。沙門ゴータマの誕生です。

もうだ! 誓願寺へ行こう!!

4月21日
▶25日

元祖法然上人八百回大遠忌法要～真実他力～

総本山誓願寺では皆さまをお迎えするために色々と準備を進めて参りました。
50年に1度の大法要に、皆様にご縁を結ばれますことを、心から願っております。

誓願寺って こんなお寺

トピックス

のり
巻

元々あった1545年製の
梵鐘を復元鑄造しました！そ
してなんと！当時の寄進者の
1人にあの有名な千利休さん



▲梵鐘



▲二河白道の庭園

のお名前(宗易)が刻まれてい
ました。この復元梵鐘にももち
ろん刻まれています。美しい響！
美しい姿！是非ご覧下さい！！

トピックス

に
式

都会にオアシス出現！！
庭園が出来ました！コンセ
プトは西方浄土に到る道にた
とえた「二河白道」。古来
より京都で珍重されてきた
「加茂の七石」を使った
豪華な庭園。是非心を癒
して下さい！！



◀法然上人像

トピックス

さん
参

この記念すべき大遠忌法要
にご参詣された方全員になんと！
この時にしか手に入らない「お
念仏の華」をお渡しします。

お守りにするも良し。家宝に
するも良し。大切な思い出の品
になること間違いありません。

是非お楽しみにしていて下
さい！！

トピックス

し
肆

八百回大遠忌記念として善導
大師像、法然上人像が寄進され
ました！！

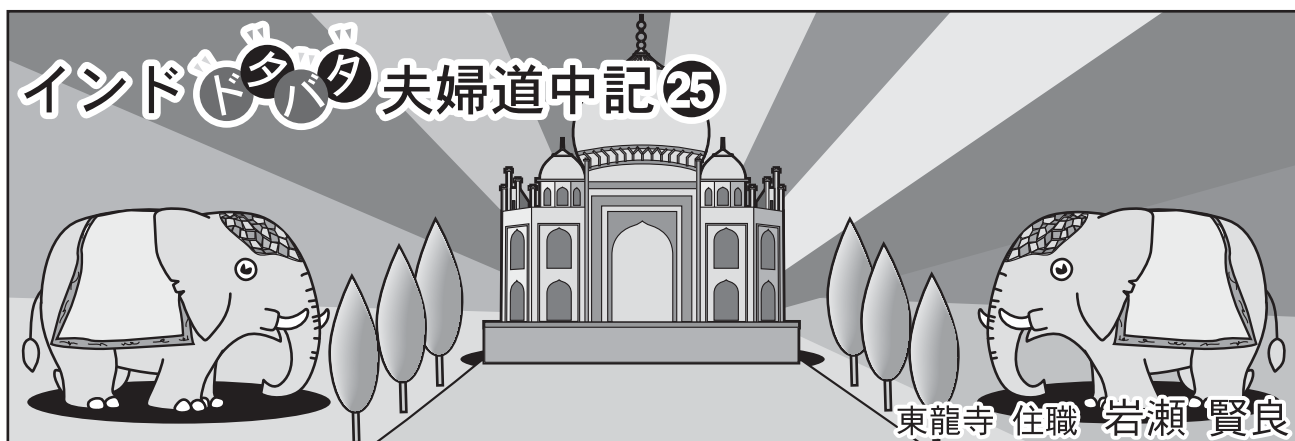


◀善導大師像



誓願寺の大きな阿弥陀さまが皆さまをお待ちしております。
是非ご参拝下さい！！！！

※案内図は7ページをご覧ください。



バスでアジャンタまで

まだ暗い午前五時、列車はプサワールに止まった。駅を出て、バスターミナルがどこにあるかを確かめ、すぐそばにあるのが分かったので、暗くて寒い所より明るくて人の大勢いる駅の待合所に戻り、ベンチに腰掛けた。僕の経験上、早朝のインドのバスは余りにも風通しが良いので、厚めの服をバッグから出して次の行動の準備を整えた。

熱いチャイを二人で飲み、僕は駅舎内のトイレに行った。そしたらトイレに入るのに二ルピー(約五円)払わなければならなかった。

同じ国有鉄道なのに、ある駅ではシヤワー・ルームもあるトイレが無料で、一方ではあまりきれいとは言えないトイレを使うのにお金がいるのは、どうも理解できない。

しかしこの時は大の方だったので、外で済ます訳にもいかず、仕方なくお金を払ってトイレに入った。

駅の待合所で十五分ほど休んでいたのだが、バスがいつ来るのか心配だったので、まだ明けやらぬ駅を出て、僕たちはバス・スタンドに向かった。タイミング良くバスのエンジン

が始動し始めた時で、アジャンタ行きはどのバスを周りにいる人に尋ね、教えてもらったバスに乗り込んだ。念のため乗る前に、アジャンタに行くバスかを運転手に確かめて、僕たちは乗り込んだのである。

始発のバスだからなのか、満員にはならず八割方席はつまり出発した。走り出してから乗務員が順番に切符を売り始め、僕はアジャンタまでの切符を二人分、一二〇ルピー(約三〇〇円)を出して買った。

そのうち、辺りは明るくなり、外の景色も見える様になると、見渡す限りの綿花畑が延々と続いているのが分かった。思い出してみると、デリーからカジュラホーまでの車の中から綿を満載したトラックを頻繁に見か

けたのである。丁度この時期は綿花の収穫期なのだろう。同じくサトウキビを積んだトラックもよく見かけたので、やはりサトウキビも同じ時期なのだろう。

二時間余りバスに揺られ、アジャンタ村に到着した。村からアジャンタの石窟寺院群まであと数キロメートルではあるが、そこからは乗り合いタクシーだそうで、それらしき車もなさそうだったので、数軒ある茶店の一つに入り喉を潤して待つことにした。



— 釈尊の生涯を描いた壁画(アジャンタ) —

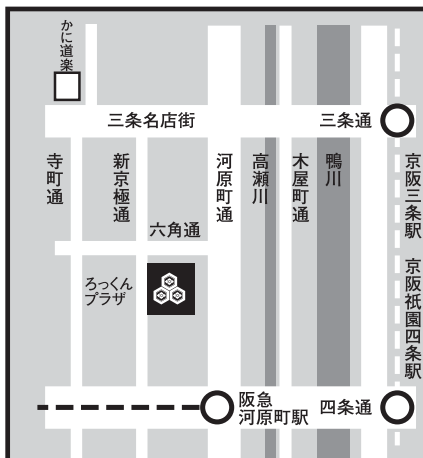
総本山誓願寺だより

お詫びと訂正

前回発行のVol.130『正月号』に誤りがありました。

3ページ『誓願寺縁起』について」の文中、宝暦13年(1751)とありましたが、正しくは宝暦13年(1763)です。

お詫びして訂正いたします。



阪急電車

京阪電車
・三条駅下車出口6番より
三条通を西へ、新京極通を
南へ徒歩10分
・祇園四条駅下車出口4番・
5番より四条通を西へ、
新京極通を北へ徒歩10分
・河原町駅下車出口9番より、
新京極通を北へ徒歩10分

■誓願寺へお越しになるには

おもな行事予定

- 三月
 - 四日(金) 誓願寺新京極セミナー (伊藤華野・ヨーガ)
 - 十四日(月) 善導忌・六阿弥陀功德日
 - 十八日(金) 春彼岸
 - 二十一日(月) 春分の日
 - 二十六日(土) 法脈相承
- 四月
 - 九日(土) 花まつり
 - 十五日(金) 六阿弥陀功德日
 - 二十一日(木) 元祖法然上人八百回大遠忌
- 五月
 - 十八日(水) 六阿弥陀功德日
- 六月
 - 十二日(日) 和泉式部忌
 - 十九日(日) 六阿弥陀功德日
- 七月
 - 十四日(木) 六阿弥陀功德日
- 八月
 - 十五日(月) 六阿弥陀功德日

クイズコーナー

【問題】

法然上人八百回忌特別展『法然 生涯と美術』はこの博物館で開催されるでしょうか (漢字2文字)

〇〇国立博物館

官製ハガキに答えと、郵便番号、住所、氏名、菩提寺(だんな寺)、感想や質問を必ず書いて送ってください。

今回は京都国立博物館より無料招待券を十名、総本山誓願寺よりお守りを十名、本山謹製線香を十名の方に、合計三十名に抽選にて差し上げます。ご応募お待ちしております。

【宛先】〒444-3523

岡崎市藤川町字中町南十五番地
稱名寺内 ちかい編集係

【締切】

五月十日
(消印有効)

答え〇〇
郵便番号
住所
氏名
菩提寺(だんな寺)
感想・質問等

※但し『法然 生涯と美術』招待券
【締切】四月十日必着分

ちかい 第131号

発行日 平成二十三年三月一日
発行所 浄土宗西山深草派
総本山誓願寺

京都市中京区新京極桜之町四五三番地
電話 (〇七五) 二二一〇九五八
FAX (〇七五) 二二一〇一九
E-mail info@fukakusa.or.jp
URL http://www.fukakusa.or.jp/

『法然 生涯と美術展の特別割引引換券』となります。

『法然 生涯と美術展の特別割引引換券』となります。



展覧会公式サイト
http://honen800.ex.jp/



法然

生涯と美術

法然上人八百回忌●特別展覧会



国史 法然上人絵伝 四十八巻の2巻三十七節五段 京都 慈恵寺 重文 阿弥如来立像 浄土宗 重文 慈恵寺本願寺弘業
〈部分〉 京都 慈恵寺 重文 法然上人 阿彌如来立像 浄土宗 重文 慈恵寺本願寺弘業
※出品品目等の部は展示替えを繰り返す。

予告
「法然と親鸞ゆかりの国宝」
10月25日[火]—12月4日[日] 東京国立博物館

京都国立博物館 [東山七条]
KYOTO NATIONAL MUSEUM
TEL 075 511 5124 73 (レホンサービス)

2011年
3月26日[土]—5月8日[日]
休館日 月曜日(ただし、5月2日は開館)
開館時間 午前9時30分—午後6時(金曜日は午後8時まで夜間開館)
※最終入館は閉館の30分前まで
主催 京都国立博物館、NHK京都放送局、NHKプラネット近畿、京都新聞社
特別協力 知恩院、増上寺、金戒光明寺、知恩寺、清浄華院、善導寺、光明寺(鎌倉市)、
善光寺大本願(光明寺)、長岡京市、禅林寺、雪願寺、遊行寺
協賛 日本写真印刷、三井住友海上火災保険、協力 日本香堂

鎌倉仏教の
トップランナー、法然。
ゆかりの品が一堂に!



特別展覧会 法然 生涯と美術
特別割引換券

- * 本券に右記の料金を添えて、売札窓口にお出し下さい。
- * 1枚で2名様まで1回限り有効。他券との併用はできません。

2011年3月26日[土]—5月8日[日]
京都国立博物館[東山七条]

一般	1,400円⇒	1,100円
大学・高校生	900円⇒	600円
中学・小学生	500円⇒	200円

特別展覧会 法然 生涯と美術
特別割引換券

- * 本券に右記の料金を添えて、売札窓口にお出し下さい。
- * 1枚で2名様まで1回限り有効。他券との併用はできません。

2011年3月26日[土]—5月8日[日]
京都国立博物館[東山七条]

一般	1,400円⇒	1,100円
大学・高校生	900円⇒	600円
中学・小学生	500円⇒	200円

※キリトリ線